

令和 7 年度 第 2 回 中城御殿跡地整備検討委員会

龍潭周辺整備

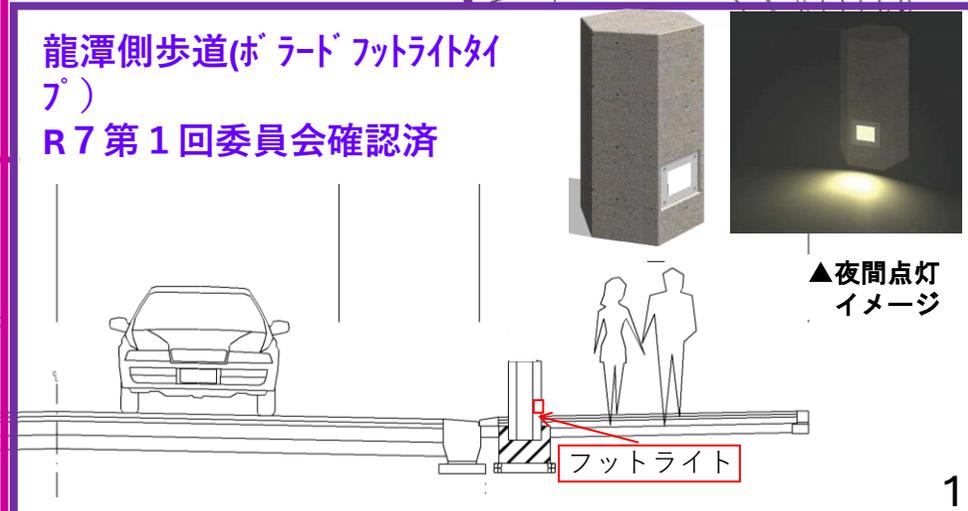
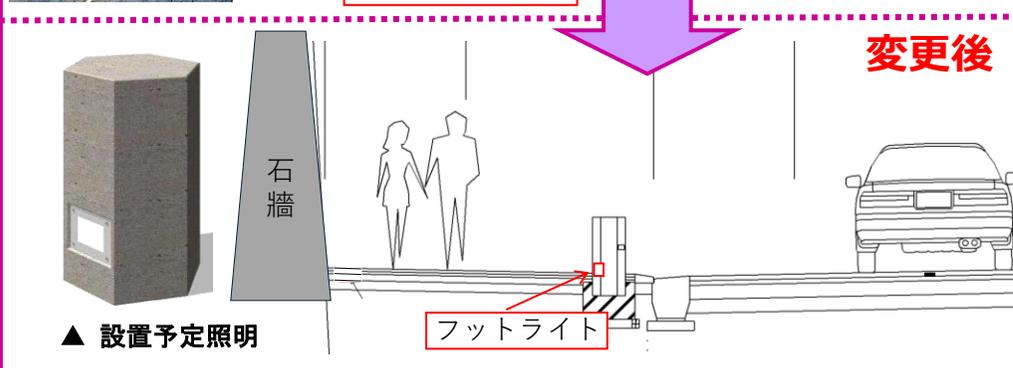
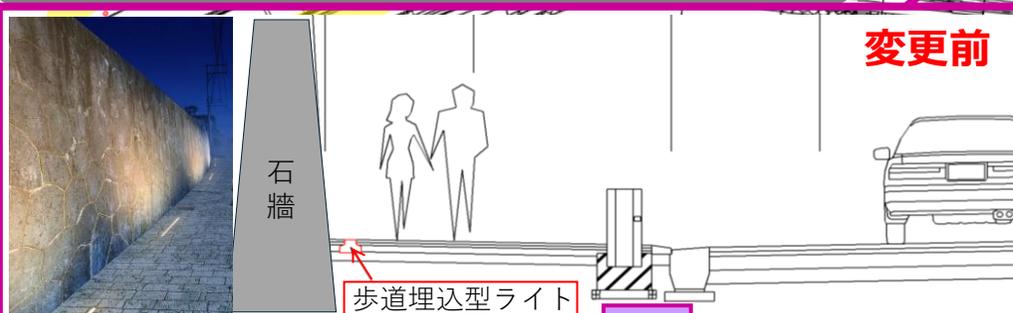
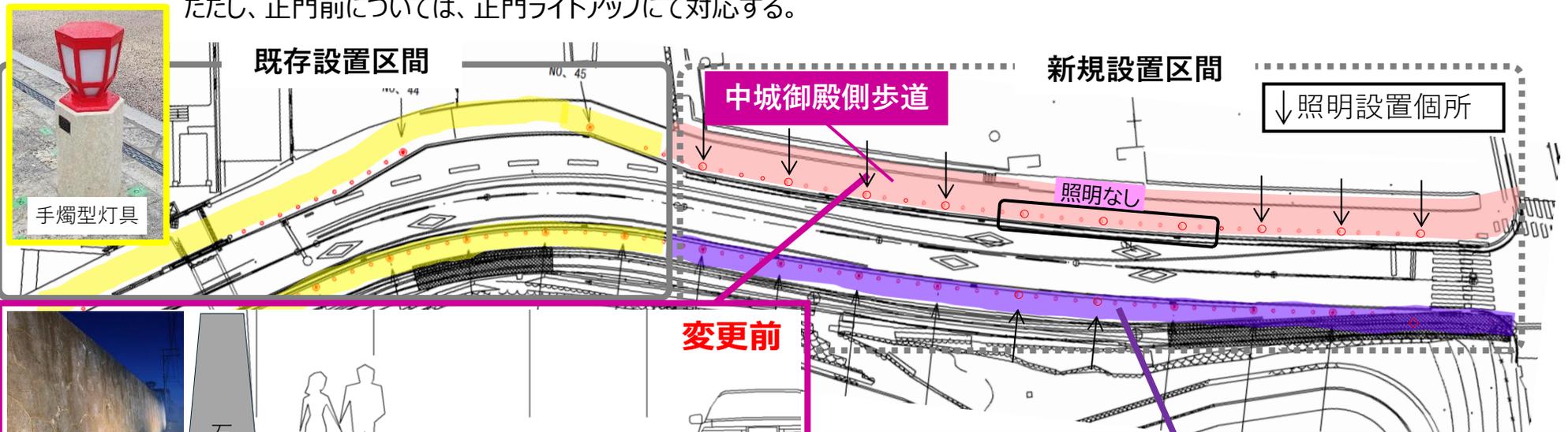
1. 龍潭線（県道29号線）の中城御殿側歩道照明
2. 松崎馬場整備
3. 世持橋勾欄整備

1. 龍潭線（県道29号線）の中城御殿側歩道照明

【既存設置区間】山川交差点～池端交差点の夜間照明は、沖縄の古典芸能である組踊で用いられる「手燭」をモチーフとした朱色のすり鉢形状灯具（以下、手燭型灯具とする）が設置されている。

【龍潭側】手燭型灯具を除いたボード（車両の進入を防ぐ構造物）のフットライトで照明を行う。（R7年度第1回委員会にて確認済）

【中城御殿側】石牆の演出のため歩道埋込型ライトを検討していたが、維持管理（安全面）に課題があることから、龍潭側と同じ手燭型灯具を除いたボード（車両の進入を防ぐ構造物）のフットライトで照明を行う。ただし、正門前については、正門ライトアップにて対応する。



2. 松崎馬場整備

【目的】首里城復興基本計画に基づく歴史まちづくりの推進のため松崎馬場の整備を行う
【工事期間】伐採・植栽：令和6年度～7年度 園路整備：令和7年度～令和8年度
【事業主体】沖縄県 首里城復興課・南部土木事務所 街路公園班



写真：「首里龍潭ヨリ旧首里城並ニ師範学校ヲ望ム」
那覇市歴史博物館 提供

● 植栽木：10本 (R6)

※樹種：リュウキュウマツ (H=3.5m)

● 植栽木：12本 (R7)

※樹種：リュウキュウマツ (H=3.5m)

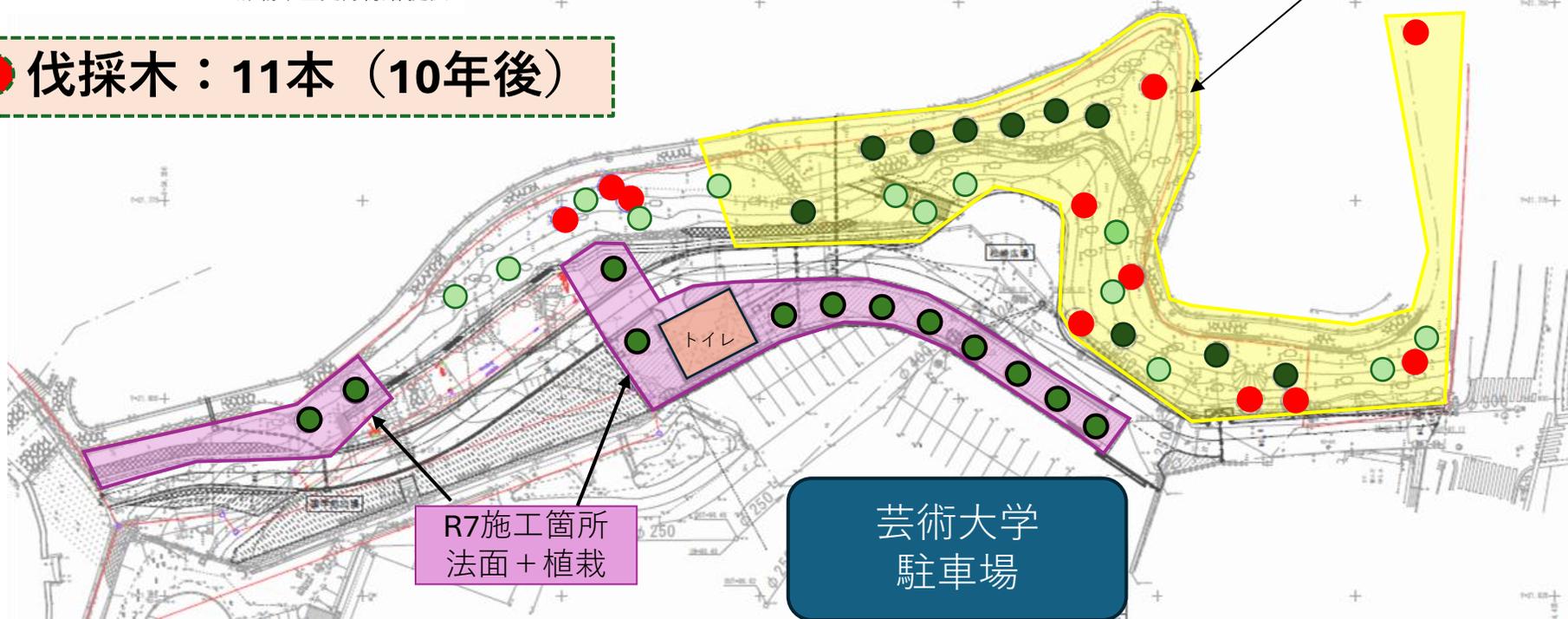
● 植栽木：13本 (10年後)

※樹種：リュウキュウマツ (H=3.5m)

● 伐採木：11本 (10年後)



R6施工箇所
伐採+植栽



R7施工箇所
法面+植栽

芸術大学
駐車場

3-1. 世持橋勾欄事業概要

【事業内容】 龍潭周辺整備の一環となる世持橋勾欄の整備を行う。

【事業期間】 令和7年5月9日～令和8年3月31日

【施工者】 株式会社 武村石材建設



写真 「世持橋」 (戦前撮影、那覇市歴史博物館提供)

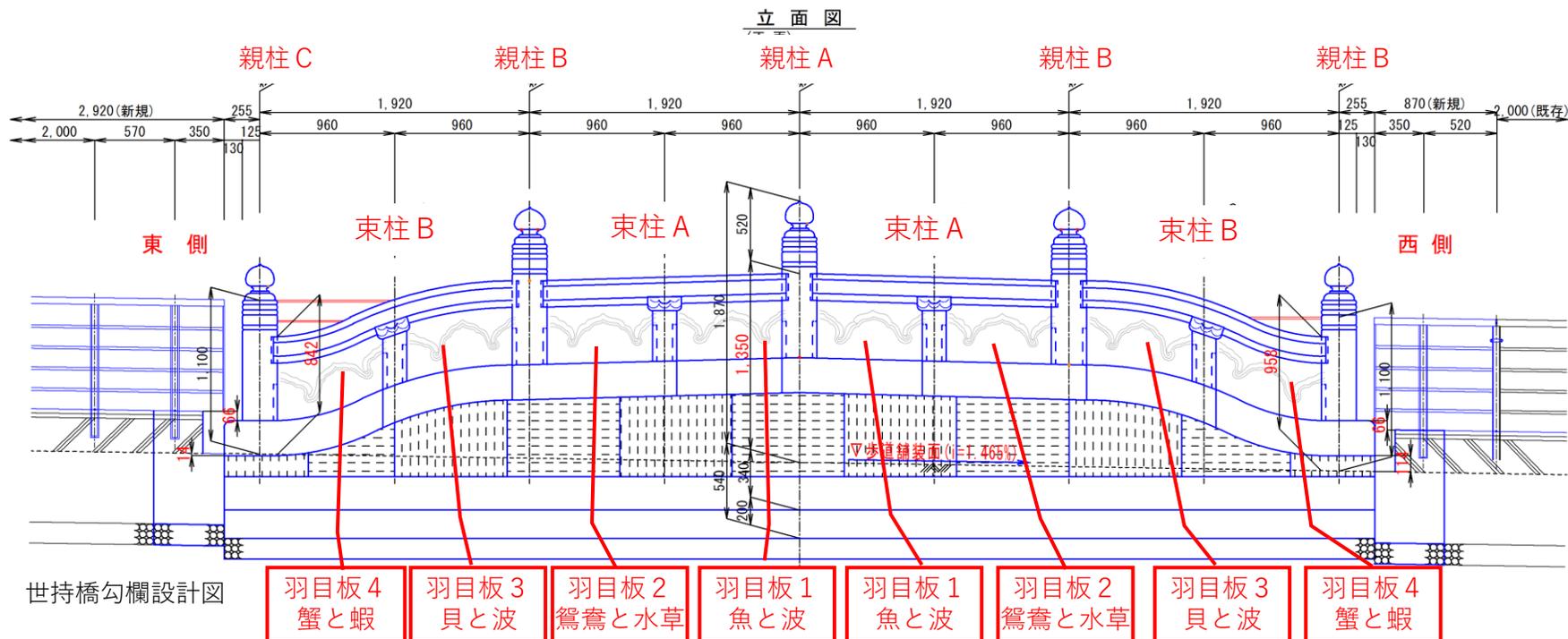
3-1. 世持橋勾欄事業概要



イメージスケッチ（道路側から見る）



イメージスケッチ（龍潭側から見る）



3-2. 昨年度の設計業務の状況

世持橋については、令和6年度に設計業務を行い、そのうち、勾欄については、沖縄県立芸大に委託し、羽目下絵及び石膏原型の制作を行った。

史料の熟覧



下絵の 検討・制作



粘土模型の 検討・制作



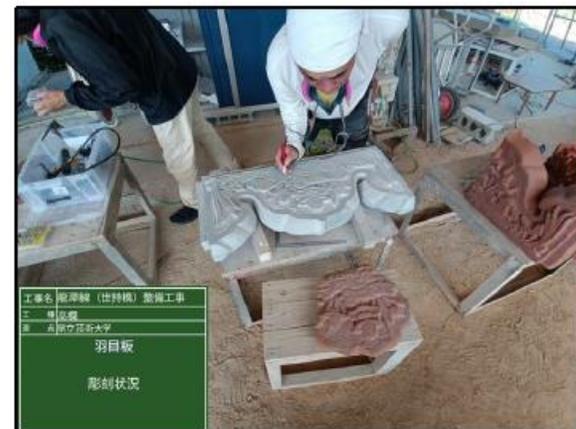
石膏原型の 制作



3-3. 羽目板 彫刻状況

令和7年度においては、世持橋の工事の一環で、勾欄の彫刻作業を行っている。羽目板については、石膏原型をもとに彫刻作業を行っている。

彫刻作業の様子



3-3. 羽目板 彫刻状況

彫刻が8割がた終了した段階で、監修会議を実施した。

1月中に彫刻作業が終了し、2月に仮組作業を実施予定。



羽目板彫刻（8枚）



監修会議の様子1



監修会議の様子2



羽目板4（蟹と蝦_龍潭側）



羽目板4（蟹と蝦_道路側）



羽目板1（魚と波_龍潭側）

3-4. 親柱・束柱 熟覧調査

勾欄のうち、親柱及び束柱については、遺物の熟覧調査を行った。

熟覧の様子 束柱（握蓮の彫刻）



寸法測定



束柱



束柱（握蓮の彫刻）

親柱



羽目部の寸法測定



親柱全体と羽目板（模型）



3Dスキャン撮影

3-5. 親柱・束柱の整備方針

親柱・束柱の熟覧を行い、その整備方針を以下のように進める。

整備工事における対応について

1. 現在、発注している龍潭線（世持橋）整備工事（R6-1）の羽目板勾欄彫刻に合わせて他の部位(親柱、束柱、笠石など)の整備も行う。
2. 遺物と同じ素材であるニービを用い、遺物及び古写真等の史料を活用して、往時の姿をできるだけ再現する。
3. 特に羽目彫刻の再現を優先とするが、新たに確認できた遺物(羽目、親柱、束柱)も参考に、高欄全体の修正(すり合わせ)を行う。
4. 現在作成中の羽目板彫刻と合わせて、監修会議で有識者の意見を諮り、中城御殿整備検討委員会で報告を行う。
5. 束柱(握蓮)については、3D撮影したデータを基に、3Dプリンタで模型を作成し、作成した模型を参考に彫刻制作を行う。

3D模型（縮小版）



3D模型（原寸版）



束柱A



束柱B

